

平成31年度の入学式が4月3日、本学体育館で行われ、新入生313人（国際学部国際文化学科124人、経営情報学部経営学科104人、同学部情報システム学科85人）が、本校みずき野キャンパスで新しい学生生活をスタートさせました。

野崎茂学長は式辞の中で、「高い専門性を身につけ、豊かな人間性を育んでください。高校までの基本を学ぶ『学習』から、学び修める『学修』へ。さらに自由な形を新たに創造する次の段階を目指してほしい」と、希望に胸を膨らませる新入生に呼び掛けました。

続いて派遣留学などで提携するアメリカ、ロシア、中国、韓国、

カナダの5大学から寄せられた祝福のメッセージがスクリーンで紹介されました。

在学生を代表して情報システム学科の亀井華菜子さんが「新たな環境に不安を抱えていると思いますが、大学生活を楽しむぞ」という気持ちで臨んでください。自分で考え行動し、人との繋がりを大切に、充実した学生生活を！」と歓迎の言葉を贈りました。

最後に新入生を代表して国際文化学科の坂爪知香さんが「大学の4年間を有意義なものとするために、知的好奇心と探求心を持ちながら、世界の問題を解決する術を模索していきます」と力強く抱負を述べました。

式を終えてガイダンス会場へ向かう新入生を待ち受けていたのは、サークル加入を呼び掛ける先輩たちの長い列。演劇部、ゴルフ部、Ecoサークルなどのチラシを受け取る新入生も、勧誘攻勢に驚きの表情でした。

高い専門性を身につけ 豊かな人間性を育もう



CONTENTS

2~5面

平成31年度入学式特集
学長式辞
新入生代表・私の抱負
在学生代表・歓迎の言葉
両学部長のメッセージ

オープンキャンパス案内
湧源

6・7面

OMO Niigata Vol.2
上越宇津保プロジェクト
小出商店街活性化事業
社会連携センター発足
支え合いワーキングショップ

COC+国際交流事業

8・9面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告

10・11面

学内合同企業説明会
青少年のための科学の祭典出展
柴山文科相を表敬訪問
平成30年度就職先一覧

教員の活動

12~16面

平成30年度卒業式特集
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞
退職教員あいさつ
卒業にあたって
JABEE認定23人に修了証書授与
特別表彰 式典スナップ



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
@nouis-line3111
LINEの「友だち追加」から
「ID検索」で登録



Twitter
@nouis_nabbit



YouTube
公式
チャンネル

入学式



新潟国際情報大学
学長 野崎 茂

か。

国際学部国際文化学科では北東アジアやアジア太平洋地域などの国際社会の理解と英、露、中、韓を中心とした外国語の習得を通じ、地域ならびに国際社会

の平和や真の発展のためにうございます。本学教職員を代表致しまして皆さんに心からお祝いを申し上げますと

貢献できる人材の育成を目指します。

経営情報学部経営学科では情報システムを使いながら、より効率的で効果的な経済活動や企業経営を実現するための知識を学んで行きます。同情報システム学科では情報システムの機能と仕組みを修得し、これを用いこなす知識と技術を身につけて情報社会の発展に貢献できる人材を育成します。

本学は昨今の国際化、情報化の一層の進展という趨勢に対応すべく、昨年度から国際学部に国際文化学科、経営情報学部に経営学科と情報システム学科という2学部3学科体制を取ることと致しました。元号が平成から令和に代わる本年は奇しくも本学創立25周年目にあたり、その年に国際学部国際文化学科に124名、経営情報学部経営学科に104名、同情報システム学科に85名、合計313名の新入生の皆さんを迎えることとなりました。これが皆さん方第26期入学の同期生ということになりました。同期生の顔を覚えるのにちょうどいい規模、同期生のみならず先輩、後輩も含めた強力なネットワークを構築することが出来る適正な規模なのではないでしょうか

学習から「学修」へ

が能の修行について語った教訓とか千利休など茶人が語った教訓とか言われているようです。「守」は基本を忠実に学び、その後に「破」ということで学んだ基本を自分なりに変化させ自分の形を身に付ける。それには一旦基本を壊してみたり、見直してみることも必要かもしれません。そうしたことによりいろいろな情報を学ぶことによりいろいろな情報に接する、「コピペ」による安易な引用が可能になります。これはただ単に既存の知識を「写し取る」、「真似る」だけに過ぎません。これまで皆さんは高校までの段階で、先人の教えを忠実に学び習うことに努めて來たはずです。「字を写すは、此れ是れ学なり」という言葉もあります。手本を写すようにして学び習う、「学習」です。もちろんこれからも基本を学び習い続けることは必要です。ただ今回皆さんは大学に於いて高等教育を受けるという選択をしました。大学では是非次の段階に移つていただきたい。先程の言葉で言うと「破」の段階です。基本を自分なりの形に変容させて行くのです。そのためには自ら徹底的に考え方を使つたことがおりでしょう。これらの授業でも多用することになると思います。このソフト、短時間でプレゼンテーションをする、あるいは相手や聴衆を説得するためには極めて有効なソフトです。極端な言い方をすれば、次から次へと場面を転換させることによりスピーカーは受け手に疑問を抱く暇を与えずに自分の思うような論理展開を一方的に、いわば直線的な一次元の論理展開をまっしぐらに押し進めることがあります。そしてその次の段階、自由な新たな形の創造まで辿り着けるかどうかは皆さんの努力次第です。

大学で学ぶということは、検索エンジンによる情報探しや他人の業績をただなぞるだけで済ませることではありません。デジタル機器の画面だけで得られる、通り一遍の、言わば一次元、二次元の世界に留まつていてはいけないので、そうした世界で

シやスマホを今まで以上に多用することにならないのではないかと思います。これらの機器は勉学のためどころか、私たちの日常生活に不可欠の道具となつております。ただこの便利極まりない機器ですが、一方でその弊害も指摘されています。インターネットを活用することによりいろいろな情報に接するため、誤った情報が大量に流れています。これはただ単に既存の知識を「写し取る」、「真似る」だけに過ぎません。

大学で学ぶということは外から取り入れた色々な知識や情報を自分の頭の中で整理し、考えて組み直し繋げてみる、自分で体系化してみる訓練をするということにほかなりません。また皆さんはパワーポイントというソフトを使つたことがおりでしょう。これらの授業でも多用することになると思います。このソフト、短時間でプレゼンテーションをする、あるいは相手や聴衆を説得するためには極めて有効なソフトです。極端な言い方をすれば、次から次へと場面を転換させることによりスピーカーは受け手に疑問を抱く暇を与えずに自分の思うような論理展開を一方的に、いわば直線的な一次元の論理展開をまっしぐらに押し進めることが可能になります。

得られる安易な答え探しに没頭することではなく、自分の経験、他者の経験を取り込み、相手のあるいは第三者の意見に耳を傾け、議論をすることにより、三次元、四次元、n次元の錯綜した世界の中で、時間を超えて空間を超えて論理を、推論を展開していくのです。

そのためには極めて有効な手段を皆さんに一つ伝授しましょう。それは図書館を活用するということです。本学の図書館の特徴を簡単に紹介してみましょう。開学時の蔵書は2万8千冊強でしたが、現在のそれは13万冊を優に超えております。最近は年間約3千5百冊程増加していますが、その内訳は専門学術書のほかに歴史、芸術、文学など、大学生として身に付けておくべきいわゆるリベラル・アーツに関わる書籍に重点が置かれております。本学図書館は、



新入生代表
国際文化学科 1年
坂爪 知香

私の抱負

「図書」も「情報」の一種であるという思想の下、ICT情報施設（Information, Communication, Technology）との複合施設として設置されています。つまり情報センターの中に図書館があるという位置付けです。これを差配するのは両学部の教員と職員によって組織される情報センター運営委員会です。教職員はここで連携して学生の学修支援や教員の研究支援など全学的なニーズに対応しています。図書購入に当たっては学生の要望を募ったり、情報センター運営委員会による選定、教員による選定、学部別重点図書選定、図書館司書による選定などを考慮したうえで購入しております。

な素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉や、私たちを支え、応援してくれた家族や周りの方々にも、心より御礼を申し上げます。

近年、地域社会においてもグローバル化が進み、訪日外国人も増加しています。さらに、人工知能が発達し、人間の働き方は大きく変わっています。このような

私は考えます。これらの力を、知識・経験共に豊富な先生方から教えをいただきながら、友人と共に向上させていきたいと思います。

また、勉学だけではなく、サークルなどの課外活動や学校行事にも積極的に励み、様々な人と接することで自身の人間力を高めていきたいと考えています。

この新潟国際情報大学で過ごす4年間を有意義なものにするために、知的好奇心と探究心を持ちながら、持続可能な開発目標を基に、まだ解決されていない世界の問題を解決する術を模索していくことをお誓いし、新入生代表の抱負とさせていただきました。

万巻の書は庫にあり

ですが、いるというこれまでの経験と、それに対する大学側の対応について知つておいていただきたからです。休退学に至る

ます。もちろん図書費予算は十分に潤沢です。利用は学生、教職員に限らずご父母、ご家族、あるいは近隣住民も可能。開かれた図書館を目指しております。まさに「万巻の書は庫にあり」です。是非本学図書館に直接そして頻繁に足を運んでください。

私たちの大学は1学年300人強の小規模な大学です。そしてその分学生間、教職員間の結束力の強い、お互いの顔の見える、面倒見のいい大学です。こじんまりとした、言わば塾のような大学です。ここで敢えてこうことを申し上げましたのは、当初期待に胸を膨らませて入学しながら途中で休退学する学生が、ほんの僅かで

原因は勉学意欲喪失や経済的理由など種々あるでしょう。後ほどガイダンスの中で説明がありますが、ゼミなどの担任教員、キャンパスライフ支援委員、学生支援センター職員、外部専門家などいずれもが親身になって相談に乗ります。問題解決のために一緒に乗ります。休退学は自分自身や周りの方々にとっての損失だけではありません。社会にとっての損失です。経済的な問題への対策として本学では然るべきセーフティネットも用意致しました。不幸にして途中で家庭の事情の変化で勉学の継続が難くなつた場合にもご相談下さい。

原稿は新入生のために、このようないいからです。休退学に至る

人間力を高める 4年間に

桜の花が次第に咲き始め、新潟でも春の訪れを感じるようになりました。

本日は私たち新入生のために、このよう

て情報を上手く活用する力が求められると

な素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉や、私たちを支え、応援してくれた家族や周りの方々にも、心より御礼を申し上げます。

私は考えます。これらの力を、知識・経験共に豊富な先生方から教えをいただきながら、友人と共に向上させていきたいと思います。

また、勉学だけではなく、サークルなどの課外活動や学校行事にも積極的に励み、様々な人と接することで自身の人間力を高めていきたいと考えています。

この新潟国際情報大学で過ごす4年間を有意義なものにするために、知的好奇心と探究心を持ちながら、持続可能な開発目標を基に、まだ解決されていない世界の問題を解決する術を模索していくことをお誓いし、新入生代表の抱負とさせていただきました。

最後になりましたが、ご多用中にも拘わらず本日ご列席を賜りましたご来賓の皆さまには教職員一同心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

歓迎のことば



在学生代表
情報システム学科 2年
亀井 華菜子

う気持ちでどうか臨んでみてください。また、自分はこの大学生活の最後にどうなつていいのか・それまでに何をしなければいけないのかを明確に把握し、行動した上で全力で楽しんでください。

大学を楽しむ心 大切に

新入生の皆さん、御入学おめでとうござります。また、御臨席いただきました多数の保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。皆さんの入学を在学生一同心から歓迎いたします。

さて、新入生の皆さん、新潟国際情報大学の学生としてこれから4年間の大学生活を送ることになります。今日はその第一日目です。今どのようにお気持ちでしょうか。わからないことが山ほどあり、新たな生活・環境への不安など様々な不安を抱えている方もいらっしゃると思います。しかし、大学は端的に言えば『楽しむ』場所です。勉学や研究、クラブ活動など大学生生活には『楽しむ』時間がたくさんあります。もちろん、大学の外から『楽しむ』ものを見つけてくるのもいいと思います。私はそういった『楽しむ』ことを糧にして過ごしてほしいです。ですから、今からでも構いません。「大学生活を楽しむぞ」とい

前置きが長くなりましたが、これからの大學生生活を送る上で大切なことを二つお伝えしたいと思います。一つ目は、「自分で考え、自分で行動すること」です。大学は高校とは違い、自分で考え方判断をしなければいけないことがあります。また、大学は自由です。この自由の中には選択肢が数多くあります。そのため、自発的な思考・行動を要します。ところが、この選択肢が多いことに気づかぬまま大学生活を過ごしてしまう学生が大勢います。ぜひこの言葉を常に頭の中に置いておいてください。

二つ目は、「人との関わりや繋がりを広げること」です。もし皆さんが困難に当たった時、何か協力して欲しいとき、誰かと繋がっていれば助けてくれる人が必ずいます。また、人との関わりを大切にしていれば、自分だけでは叶えられなかつた体験をすることもあります。人と関わることは、いいことだけではありません。悪いこともあるかもしれません。ですが、最後に自分を成長させてくれるのは人との関わりや繋がりです。恐れず、積極的に関わってみてください。

最後になりますが、私は皆さんにこの大学を好きになつてもらいたいです。4年間という中で楽しいことがある反面、困難に思います。そんな時でも胸を張つて新潟国際情報大学が好きと言える学生になつてもらいたいと思います。これらの4年間の学生生活が充実したものになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

日本私立大学協会 会長	大沼 淳様
新潟市 市長	中原 八一様
新潟県 知事	花角 英世様
セコム上信越株式会社 代表取締役会長	野沢 慎吾様
株式会社日本ドリーム 取締役社長	小林淳一郎様

祝電

順不同



高校生はじめどなたでもご参加できます!

OPEN CAMPUS 2019

オープンキャンパス2019

無料送迎バス運行
(1回目)
7/14日
(2回目)
8/4日

1回目 7/14(日) 10:20▶15:30	2回目 8/4(日) 10:20▶15:30	3回目 9/1(日) 10:20▶15:00	4回目 12/8(日) 13:15▶16:30
-------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------

*時間やイベントについては、変更になる場合があります。
最新情報は本学ホームページをご覧ください。

会場 新潟国際情報大学 本校

新潟市西区みづき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

参加お申込み 本学ホームページまたは下記までお申込みください。

お問い合わせ先 入試・広報課 ☎950-2292 新潟市西区みづき野3-1-1 TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780 E-mail nyushikouho@nouis.ac.jp

新入生に望む 初心忘れず 可能性信じて

初心忘れず、と申します。人生の節々に強く思つたことを温め、育てていけば夢は実現により近づいてきます。入学した今思つて

学び方と

や企業等での豊かな実務経験を有する教員も多く、学び方や学ぶ習慣を身に

学び方と学ぶ習慣を身につけよう

何を目指しますか。



小林 満男 学部長

経営情報学部

ようこそ
この大学で
みなさんと
人生の貴重
な時間を共
に過ごせる
学に入つた
輪切りにさ

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a light-colored button-down shirt and a textured blazer. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

佐々木 寛 学部長

狭い世界観を捨て 創造する自信を

人生を始めたばかりで、本当は無限の可能性を秘めています。「常識」をふりかざし、人間の無力を説く大人や世間の偏見に囚われず、自分らしく生きる道を模索する。それが、この本の目的です。

今は凝り固まつた頭のしがらみを、柔らかく解きほぐしておいてください。
想像して

てください。これからみなさんが出逢う世界は、これまでにないほどずっと大きな世界です。また、「こんな程度だ」と思っていた自分よりもはるかに大きな自分に出逢えると思います。日本の若者の多くは、自分自身で自分の人生を小さくしてしまいます。それは、長い期間、学校でくり返し「自分がいかに無力であるのか」を教えられるからです。けれども、君たちはまだ

間や先生にだまされてはいけません。大学は、生きる上で大切な価値を学ぶだけでなく、新たな価値を創り出す場所でもあります。新しい価値を生み出すためには、既存の価値を一度疑つてみなければなりません。そしてこのように「懷疑」し、「創造」するためには、それに持ちこたえるだけの「自信」が必要になります。大学での学びは、それを可能にするでしょう。卒業時にまつた

ことを耳にする。しかし、アルバイトで経験したことは、これから経験することのほんの一部であることを肝に銘じておく必要がある。

「裏うへて申ば」「一七の言葉ぢやう。

この言葉を否定はしない。おそらく小学生生までは、重要な教育方針であると思う。確かに褒められて悪い気はしない。しかし、自我が確立し、多くの知識を身につけ、経験を積んだ大学生や社会人には全面的に適用できる言葉ではないと思つてゐる。

怒るというのは、自分と同じことができない（しない）ときに生じる感情だそうである。ある目標に向かつてチームで仕事をしているとき、自分と同じようにしてくれなかつたら、「怒り」が生ずる。「怒る」のはそれだけ真剣に仕事に取り組んでいるからである。仕事をしているとき、「怒られる」のは極めて日常的であると思つて欲しい。また、人間は（人間だけではなさそうであるが）失敗から学んでいく動物である。

社会に出て、たくさん失敗して、たくさん怒られて、一人前になつていつて欲しい。

湧源

編集後記に代え丁

入試・広報委員会

西山
茂

2月9日、10日に

本学国際交流センターで開催された

「OMO Niigata Vol.

2」に参加しまし

た。OMOは「One

for a Million a Mil-

lion for one」の略称

で、主に公務員が参

加する研究会です。

チームに分かれて、

解決したい社会問題

に取り組むNPO（非営利団体）を、

2日間で立ち上げる
ところまで考えまし
た。

私たちのチームは

「思い出のある建物

が簡単に壊されない

世界」の実現を考

え、周りにある残し

たいものを登録して

共有できるアプリを

提案しました。必ず

このNPOを設立し

て私たちの夢をかな

える、そんな希望が

OMO Niigata Vol.2

持てた2日間でし
た。

社会人と
意見を交わ
し自身の考
えを発信し
ていくこと

は、今後の
大学・社会

生活にも大
いに活かせ
る経験であ
ると感じま
した。

建物保存アプリを提案

(情報システム学科
3年 星野 裕太郎)



研究課題についてチームで話し合う筆者(中央)

キミノデザイン
製作所

山間地集落に滞在2週間

私たち小宮山研究室では上
越市宇津俣地区でプロジェクトを行っています。この地域
は16世帯、高齢化率約40%の

山間の小さな集落ですが、20
年以上前から農業法人化し、
6次産業化、農業ブランド化
など先進的な取り組みを次々
と行っています。

ヨンを行うことにしました。その一環として地元小学校で「インスタ
映え」する撮影のワークシヨ
ップを開催しました。

この活動を通してプロモー
ションや人に伝えることの難

小出コースターと
は、私たちのワーク

と「小出コースター」の作成に取り組
んでいます。

小出コースターと
は、私たちのワーク

方に小出地域の魅
力を再認識しても
らうと同時に、次
世代の意識改革を
目指しています。

小出商店街活性化事業



コースターづくりで意識改革



地元小学校でのワークショップの様子

私たち
は、地域の
産物の販売促進
のために、
2週間ほど
滞在して地
域の方にお話を
お聞きし、イ
ベントにも参
加させていた
きました。そ
の結果、若者
の情報発信が
課題だと考
え、インスタ
グラムでプロモーシ

インスタグラムで 販促活動支援

いうことを実感しました。
り、広報活動では何よ
りも「理解
すること」
が大切だと
しさを知
しました。その一環と
して地元小学校で「インスタ
映え」する撮影のワークシヨ
ップを開催しました。

情報システム学科
4年 井上友二
4年 本間銀河
4年 野股克也



勢ぞろいしたサークルの仲間たち

情報システム学科
3年 岡田 薫叶
4年 齋藤

昨年11月10日の「魚沼
職人大学学園祭」、2月
10日の「魚沼国際雪合
戦」でワークショップを開催しましたが、新年度
以降も新たな仲間を加え
長期的に継続していく計
画です。

ショッピングに
参加してくれ
ださつた方
に、小出郷
や商店街を
イメージし
たスタンプを作成
していただき、さ
らに各自のスタン
プを組み合わせて
作ったオリジナル
な地域のコースタ
ーです。このコー
スターを地域の飲
食店で使用してい
ただき、デザイン
した方、商店街の
方、そして訪れた
方に小出地域の魅
力を再認識しても
らうと同時に、次
世代の意識改革を
目指しています。

支え合いワークショップ



トレーニング器具について説明するフィットネス研究部員

ヤンパスの体育館で本学、新潟看護医療専門学校、地域の福祉関係企業、行政の方々の協力で、「健康づくりイベント」を開催しました。このイベントは昨年6月のワークショップで提案されて企画したもので、健康に関心を持ち、運動するきっかけとなるプログラムを心がけました。

健康体操講座に高齢者ら55人参加

(情報システム学科
2019年3月卒業
小池 優太)

3月17日、本校みづき野キャンパスの体育館で本学、新潟看護医療専門学校、地域の福祉関係企業、行政の方々の協力で、「健康づくりイベント」を開催しました。このイベントは昨年6月のワークショップで提案されて企画したもので、健康に関心を持ち、運動するきっかけとなるプログラムを心がけました。

地域と大学を結ぶ

社会連携センター発足

大学はもともと社会との接点を持つ存在であり、

教育、研究の成果を社会に還元する責任があります。新潟国際情報大学としても2018年4月に経営情報学部をスタートさせ、今年6月創立25周年を迎えます。いわば「第二の開学期」というべき時期にあたって、改めて社

側双方で議論を重ね、昨年9月の理事会評議員会で承認をいただき、実現したもので

4月1日から新潟中央キャンパスにおける「エクステンションセンター」がスタートしました。大学、法人側双方で議論を重ね、昨年9月の理事会評議員会で承認をいただき、実現しました。

4月新潟中央キャンパスで始動

(学)新潟平成学院 理事長 星野 元

会連携センターの活動は、そうした特徴を伸ばし、併せて本学の「ブランド力」の向上に寄与するものと期待しています。教職員はじめ在学生、卒業生の皆さんご支援を宜しくお願いします。



教員と学生合計22人に加え、

海外5大学の22人が来校

新潟市内巡りで魅力を発見



提携大学の一行は、昨年11月19日から24まで本学語学クラスの授業を見学、新潟県庁を表敬訪問、また歓迎会では、中国、韓国造大学院大学の留学生とともに交流を行いました。

22日には彌彦神社参拝、23日は市内見学で酒蔵の今代澤家住宅などを巡り、本学の国際交流センターで開催した交流会では、市内の印象などについて発表して頂きました。提携大学の学生からは初めて体験した新潟の「魅力」について、新潟在住の留学生からは「再発見」があつたなどのコメントがありました。

COC+国際交流

COC+（文科

省が推進する「地

（知）の拠点大

学による地方創生推

進事業」の一環

として行う国際交

流事業は、今年度

で4回目を迎ま

した。海外の提携

大学（アメリカのセントラルミズ

リ州立大学、ロシ

アのウラジオスト

ク国立経済大学、

中国の北京師範大

学、韓国の慶熙大

学校、カナダのア

ルバータ大学）の

アメリカ

私たち17名は8月22日から12月7日まで、アメリカ合衆国のセントラルミズーリ州立大学で学んできました。私たちは簡単なテストの後、いくつかのクラスに分けられました。

混合クラスで英語力アップ

国際文化学科3年 赤川 万里慧

授業ではリーディング、ライティング、文法、さらにアメリカの文化、アメリカの歴史、日本関係について学びました。私のクラスはサウジアラビアや韓国からの留学生との混合クラスで、期せずして英語をセカンドランゲージとする話者の英語に

に英語で話す自信をつけさせてくれました。

また、私は大学構内の寮で生活していました。部屋はそれぞれルームメイトが一人と、お風呂とトイレを共有する二人のスイートメイトで構成されます。親元を離れて生活すること

で、安心して快適な寮生活を送ることができました。

また、大学にはアメリカンフットボールの試合やハロウィン、映画会などたくさんのイベントがあります。一番記憶に残っているのがドラマケイレンショード。男性が女性のよう

うショードは、大変盛り上がりま

した。

最後に素晴らしい体験として紹介したいのがサンクスギビング休暇でのフロリダのディズニーワールドとユニバーサルスタジオへの旅行です。私は内向的

です。

本学の先生方やお世話になつたアメリカ現地の先生方、一緒に学んだ友人たち、そしてなによりも素晴らしい機会を与え応援してくれた家族に感謝したいです。



パレード時にみんなそろって

慣れ親しむことになりました。はじめは彼らの独特なアクセントや訛りのために、正確に聞き取ることができませんでしたが、何度もやり取りするうちに、彼らの英語を理解できるようになりました。この経験は私になりました。

が初めてだった私は不安でいっぱいでしたが、ルームメイトとスイートメイトはとても気さくで親切だったの

慣れ親しむことになりました。自分たちだけで国内線の飛行機を乗り継いだり、現地の人と英語で話せるか心配でした。

しかし、それはほとんど杞憂に終わりました。私たちはしばしば道に迷い、現地の方に尋ねることもあったのですが、私たちの拙い英語にも懇切丁寧に対応してくださいました。今回の留学体験を通じてたくさんの方々とを学ぶことができ、また語学面だけではなく人としても成長することができます。

ありがとうございました。

韓国

私たち韓国留学チームは、ソウルにある慶熙大学校の国際教育院で学びました。

午前は韓国語の学習、午後は韓国語の歌や映画などの文化授業を受けました。午前は外国人の友達と共に授業を受け、午後は

トウミ制度とトウミ制度がありました。

相互理解生むトウミ制度

国際文化学科3年 竹之内 一菜

に韓国留学生が1人つき、勉強手伝つてもらつたり韓国生活について教えてもらう制度です。このトウミ制度で韓国人の友達ができました。さらにクラスで現地学習や食事会に参加し

おじさんやトウミに教えてもら

った全ての方々に感謝を込めます。

本学の先生方やお世話になつたアメリカ現地の先生方、一緒に

学んだ友人たち、そしてな

ども見て、非常に環境が整つてきました。生活していくうえで気になることは、寄宿舎

つた全般の方々に感謝を込めます。

本学の先生方やお世話になつたアメリカ現地の先生方、と一緒に

学んだ友人たち、そしてな

ども見て、非常に環境が整つてきました。生活していくうえで気になることは、寄宿舎

つた全般の方々に感謝を込めます。

本学の先生方やお世話になつたアメリカ現地の先生方、と一緒に

海外留学に60人が参加

いくうちに、リスニングの力が伸びて授業での発言が増え、飲食店での会話も苦にならず、楽しく会話ができるようになります。

辛さ乗り越え成長を実感

辛い経験も沢山ありました。ロシア語が理解できなかつたころに財布を落としてしまつた時、部屋に沢山のゴキブリが出た時は、非常に辛かつたです。

4か月間は、毎日が刺激的で価値あるものでした。この経験を活かしてこれからもロシア語学習に励んでいきたいと思います。

北京師範大学の授業は日本語を話すことが出来ません。そのため、特に最初の頃はとても辛く、大変でした。しかし徐々にその環境に慣れることが出来ました。こうした環境こそが、私

肌で感じた文化と暮らし

国際文化学科3年 金田 濂沙

の方々、家族、そして学した14人の仲間た 感謝しています。ありがとうございました。

いなどさへ旅行に行き、私たち
は北京でとても貴重な体験をするこ
とが出来ました。

新潟国際情報大学 学報 国際・情報 平成31年4月発行 2019年度 No.1

力ナダ

ジを作成しました。

体験ばかりでした。

をかけると、親切に分かりやす

A black and white photograph of a group of ten people, mostly young adults, posing on top of several large hay bales. They are arranged in two rows: five people sitting in the front and five standing behind them. The group is diverse in age and style. In the background, there's a windmill on the left and a tent-like structure on the right, suggesting an outdoor event like a fair or festival.

観光地コーンメイズ(とうもろこし迷路)で

刺激に満ちた多国籍文化

情報システム学科3年 田村詩織

とができる



トカラフスキーランド



北京師範大学構内で

中玉

たちの中国語の力を高めてくれたのだと思います。

また、私たちは多くの国の留学生と出会いました。彼らとともに勉強することも、お互の刺激は、お互いの刺激

ルバータ大学で夏期セミナーに参加しました。前半は、カナダ・アルバータ州の歴史や習慣について学び、後半は、スピーチングやリスニング、プレゼンテーションを通して英語を学びました。午後は

なく多くの外国人と一緒に受けたので、授業内容と共に彼らの国のことなども知ることができ、とてもいい刺激を受けました。授業以外では、ホストファミリーや友達とお祭りに参加したり、観光を楽しんだり、有意義

る存在でした。興味のあることを聞くとなんでも教えてくれて、すぐに打ち解けられました。わずか3週間のホームステイでしたが、大切な家族ができました。学外でも現地の人には声

フレンドリーで優しくて素敵な人ばかりです。この4週間で学んだことは大きな人生の財産になりました。この貴重な体験を今後あらゆる場面で活かしていくこうと思います。

学内合同企業説明会



青少年のための科学の祭典

「青少年のための科学の祭典」は、理科や数学あるいは科学技術分野の実験や工作を一堂に集め、小・中・高校生らに楽しんでもらうイベントです（日本科学技術振興財団・科学技術館主催）。今年は2月9日、10日の2日間、長岡市のハイブ長岡で開催されました。

本学は、近藤研究室と西山研究室の共同で「光受信機を作つてリモコンの光を聞いてみよう!!」をテーマに、光通信の基礎実験を出展しました。展示の狙いは、訪れた来場者に自ら光で通信できる驚きと実験の楽しさを感じてもらうことです。

リモコンの光を聞いてみよう



近藤研究室・西山研究室が出展

組（ほぼ親子）に、参加した本学学生7人のうちの1人を配して対応し、実験のやり方を説明しながら来場者自らが実験を行うようにしました。ブース来場者は途切れることなく、2日間で小学生の親子連れなど169人が来場しました（会場全体では約1700人）。

251社、学生240人が参加

業説明会」を3月14日に、本校体育館で開催しました。本年度も「売り手市場」の就職環境の中で、本格的な就職活動が始まりました。

説明会には県内外から251の企業と団体の採用・人事担当者らが多数参加され、3年次生の就職希望者240人が志望業界を中心訪問しました。採用

考、面接などが始まります

が、昨年同様に、採用試験の前倒し傾向となっています。就活生の皆さんのご健闘をお祈りいたします。

期待高まる売り手市場 本格的な就活スタート

「平成30年度学内合同企

業説明会」を3月14日に、やは選考基準など採用に関わる質問をするなど積極的にコミュニケーションを図りました。6月から書類選

共同研究会「人類学／民俗学の学知と国民国家の関係：20世紀前半のナショナリズムとインテリジェンス」（国立民族学博物館）
・(2019年1月31日)「中国貴州省におけるミャオ族の社会階層と配偶者選択：女性の移動が与えた影響に着目して」京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」第3回研究会議（京都大学）
・(2019年2月15日)「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」平成30年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」年次研究成果発表会（京都大学）

土屋 翔(経営学科・講師)

・(2018年12月)「佐渡の持続的発展に関する実証研究——循環型農業と学生の方に焦点を当てて——」国際総合研究学会
・(2019年1月)「経営学におけるフレームワークの有用性と限界」研究会 Global Sustainability Institute of Japan
・(2019年3月)調査活動「JA管農指導における概念と実践」JA調査

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

・(2018年12月6日)「カンボジアから考える紛争と平和」2018年度社会科特別授業（敬和学園高等学校）
・(2019年1月12日～13日)「カンボジア：对仏独立運動とシハヌークによる政治権力の独占」科研一般公開研究会／第6回東南アジア比較政治研究会「アジアにおける独裁と民主主義の歴史的起源」（慶應義塾大学）
・(2019年1月23日)「権威主義体制はなぜ、どのように続くのか：カンボジアにおける人民党支配の40年」国際学部スタッフセミナー（新潟国際情報大学）
・(2019年2月20日)「東南アジアに浸透する中国：カンボジアの事例」環日本海懇談会幹事会（万代シルバーホテル）

3)委員・社会的活動・記事・その他

内田 亨(経営学科・教授)

・(2019年2月19日)加藤大和、鈴木尊就、内田亨「若者に県内企業関心を高めるための企業紹介冊子作成」インターンシップ・地域活動フォーラム（新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス）

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

・(2019年2月6日)『日本海新聞』(鳥取県)の新聞記事「拘束長期化を心配 漁船連行1週間」に取材協力（電話インタビュー）

小宮山 智志(経営学科・准教授)

・(2019年3月17日)「健康づくりイベント」詳細は本誌7ページ（新潟国際情報大学・体育館）

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

・(2019年3月20日)新潟県シニアカレッジ「まちかどふれ愛英会話」新潟日報サービスセンター キャラレル4月号

高木 義和(情報システム学科・教授)

・(2018年12月20日より継続)2018年度第1回個人情報保護審議会（新潟市役所本館3階）
・(2019年2月12日)出張講義「朝食の栄養バランスをチェックしよう」（新潟翠江高等学校）
・(2019年2月8日～3月8日)新潟市情報システム再構築業務委託業者選定に係る意見聴取1（新潟国際情報大学）
・(2019年3月20日～4月2日)新潟市情報システム再構築業務委託業者選定に係る意見聴取2（新潟国際情報大学）

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

・(2019年2月24日)『新潟日報』(2月24日付)「[北東アジアを読む]対中傾斜進むカンボジア民主化が後退の局面に」掲載

アークベルググループ	(株)ケー・オー・ケー・ケー	(株)ティー・エス・イー	阪和興業(株)
アーフランダカモト(株)	国分関信越(株)	デジタルアドバイジング・コンソーシアム(株)	(株)ピーエイ
ITX(株)	コクヨ北陸新潟販売(株)	東京コンピュータサービス(株)	(株)BSNアイネット
(株)アイテック	(株)コメリ	東京周波(株)	(株)ビット・エイ
(株)アウトソーシングテクノロジー	(株)コロナ	TROOP DANCE COMPANY STUDIO	(株)ビップ
アクシアルリテイリンググループ	コンピュートロン(株)	(株)TOSYS	(株)廣瀬
(株)アクティオ	(株)埼英スクール	(株)トッキー	(株)福田組
(株)アジカタ	(株)サカイ引越センター	トップ工業(株)	福田道路(株)
(株)アスカプランニング	(株)坂謙	トヨタカローラ新潟(株)	富士ゼロックス新潟(株)
株当間高原リゾートベルナティオ	佐藤食品工業(株)	トヨタ部品新潟共販(株)	富士ソフト(株)
アニコム損害保険(株)	(株)サンソウシステムズ	(株)トラステック	藤田金属(株)
(株)アミング	(株)三宝	(株)中条ジャムコ	(株)フジミック新潟
(株)イーエムエス新潟	(株)CSコーポレーション	HRTニューオータニ(株)	(株)富士屋
石本商事(株)	(株)シールズ関東	7improvementsグループ	(株)PLANT
(株)ヴァティー	(株)ジェイ・イー・ジェイ	新潟運輸(株)	ブリヂストンタイヤジャパン(株)
(株)ヴィザップ	(株)JIEC	(株)新潟グランドホテル	(株)プレスマディア
(株)WELCON	JA越後中央	新潟県警察	(株)北越銀行
ウェルシア薬局(株)	JA佐渡	新潟県警察行政	(株)ホテルオーディナ新潟
(株)ウォロク	JA新潟市	新潟県信用組合	(株)マーキュリー
(株)エイジエック	(株)ジェイ・エス・エス	新潟県土地改良事業団体連合会	(株)マイナビ
(株)エイチエージャパン	(株)ジェイ・マックソフト	(株)新潟県農協電算センター	(株)マスター・マインド
エス・エー・エス(株)	(株)システムアート	(一社)新潟県労働衛生医学協会	(株)マルタケ
(株)越配	(株)システムフロンティア	新潟交友事業(株)	(株)丸山自動車
(株)NHC	事務機サービスニイガタ(株)	新潟信用金庫	(株)三ツ葉パーツ
(株)NS・コンピュータサービス	(株)ジャパンネット	新潟スマート自動車(株)	源川医科器械(株)
(株)NSホールディングス	(株)シリウス	(株)新潟関屋自動車学校	(株)明幸フォーラム
(株)NTT東日本・関信越	(株)すのき	新潟綜合警備保障(株)	明治フレッシュネットワーク(株)
(株)エネサンス新潟	ストライプインターナショナル	新潟ダイヤモンド電子(株)	明治安田生命保険(相)
遠藤工業(株)	スワロー工業(株)	新潟中央青果(株)	(株)メビウス
(株)オートパーク	(税)第一会計コンサルタント	(株)新潟電装	モトーレンニイガタ(株)
大野精工(株)	瀬賀カイロプラクティックセンター	新潟トヨタ自動車(株)	森井紙器工業(株)
大森電子(株)	セコム上信越(株)	新潟トヨペット(株)	(株)モリキ
岡三にいがた証券(株)	全国共済農業協同組合連合会	(株)新潟日報サービスネット	弥彦村役場
(株)オタケ	(株)セントラルパートナーズ	日佑電子(株)	ユアサ商事(株)
(株)柿生電設	株総研システムズ	日東アリマン(株)	ユニー(株)
(株)カシックス	株ソネット	日本精機(株)	ユニオン建設(株)
加茂市役所	株第一印刷所	日本郵便(株)	(株)吉田工業
(株)カルチロード	第一建設工業(株)	日本生命保険(相)	(株)ヨドバシカメラ
(株)川内自動車	株第一実業	(株)日本ハウスホールディングス	(株)よねー
(株)北村製作所	第一生命保険(株)	日本PCサービス(株)	陸上自衛隊
(株)ギフト	株大光銀行	ネットトヨタ新潟(株)	リコージャパン(株)
キヤノンイメージングシステムズ(株)	太平ビルサービス(株)	パーソルR&D(株)	(株)菱電社
(株)キヤン	株高儀	パートナーズプロジェクト税理士法人	(株)レオパレス21
(株)熊谷	株たかだ	株ハーモニック	(株)レグラス
クリナップ(株)	医佐武会 武内歯科医院	初穂商事(株)	(株)レップス
グローカルマーケティング(株)	株田中組	株ハニーズ	ワタナベグループ
群馬精工(株)	中越運送(株)	株パパまるハウス	平成31年3月現在(五十音順)

柴山文科相を表敬訪問



柴山昌彦文科相(中央)を囲んで

平成31年1月22日、星野理事長、森副理事長、野崎学長、佐々木専務理事の4名が文部科学省に大臣を表敬訪問致しました。

柴山大臣には、「本学は創立発起人である故小澤辰男元衆議院議員提唱域と共に生き、地域と共に歩み続ける大学を目指す」という理念の下に設立され、地元に愛されな

る大学である。」旨紹介し、大臣からは大いに評価していただきました。

星野理事長・野崎学長 発展続く本学の現状を報告

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

内田 亨(経営学科・教授)

- (2018年) Remy Magnier-Watanabe, "The Mediating Role of Subjective Well-Being on Organizational Virtuousness and Job Performance: A Comparison between France and Japan", Journal of Strategic Management Studies, Vol.10 No.1 (5-18)
- (2019年) Remy Magnier-Watanabe, "Designing Jobs to Make Employees Happy? Focus on Job Satisfaction First", Social Science Japan Journal, Vol.22 No.1 (85-107)

白井 健二(経営学科・教授)

- (2018年12月) "Process-delay model estimation and risk-avoidance method", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.14 No.6 (2101-2116)
- (2019年2月) "Optimal control of production processes that include lead-time delays", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.15 No.1 (21-37)
- (2019年2月) "Propagating the fluid model of production processes with time delay", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.15 No.1 (91-105)

土屋 翔(経営学科・講師)

- (2018年12月) 「経営学における基礎的概念の一考察 —『栄養失調』な学問としての真髓—」『国際経営論集』29号 (189~221頁)

矢口 裕子(国際文化学科・教授)

- (2018年12月) 「アニアス・ニンのパリ、ニューヨーク」水声社 (103頁)
- (2019年2月) "Twittering Machie of Paradese: Glimpses of Two of Anais Nin's Japanese Dauters", Anthology of A Café in Space: Anais Nin Literary Journal, 2003-2018. Sky Blue Press". (18-29)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

- (2019年1月) 「開発下のカンボジアにおける人民党支配: 国家と社会に浸透する党」『アジア

研究』65巻1号 (79~95頁)

2) 学会・研究会・講演等

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

- (2019年2月23日) 講演会基調講演「ボストン冷戦における日米防衛支出の実証分析」冷戦研究会第49回例会 (東京大学・駒場キャンパス)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2019年3月1日~2日) 「日本の歴史意識における『永遠と時間』一丸山真男『古層』論の視点から」台湾師範大学・名古屋大学共催「東亜思想交流史」国際シンポジウム (台北文德書院)

小宮山 智志(経営学科・准教授)

- (2018年12月16日) 講師「新発田のインバウンド・アウトバウンドと台湾」平成30年度国際理解セミナー・アジアを知る (新発田市生涯学習センター・多目的ホール)
- (2019年2月19日) 分科会「地域の課題解決」ファシリテーター インターンシップ・地域活動フォーラム (文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 NIIGATA COC+) (新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)
- (2019年3月13日) 「地域産業活性化に向けた取り組み等について」卷總CHAT講演会 (卷總合高等学校)

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

- (2019年1月12日) 「新潟らしい『おもてなし』とは? 一街の魅力再発見・もてなし心・極意を達人に学ぶ」開港150周年記念事業 文化講演会 第3回「おもてなし 英会話」 (新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

- (2018年12月27日) 「中国民族学界における鳥居龍藏の調査・研究への評価」国立民族学博物館

学長式辞

新潟国際情報大学
学長 野崎 茂

つた明るい未来に思いを致し、皆さんの胸は高揚感で溢れています。高浜虚子にこんな俳句があります。

「運命は笑い待ちをり 卒業す」。

如何でしょう。我が意を得たりと思つておられる方も多いのではないか。でもここで少し立ち止まって振り返つてみてください。1990年代末から2000年代前半にかけて「就職氷河期」と呼ばれた時代がありました。丁度本学が設立され卒業生を取り出した頃です。1998年3月卒業の第一期生は97%という高い就職率を達成したものの、その後は2001年までここで少し立ち止まって振り返つてみてください。

本日ここに学士の学位を授与された情報文化学部176名、国際学部108名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席いただきました新潟信用金庫小松理事長

情報大学の役員、教職員一同心より祝福致します。

皆さんもお慶び申し上げます。

皆さんは平成という元号における本学最後の卒業生であり、昨年4月に学長に就任

した私にとっては最初に送り出す卒業生と

いうことで、私自身感慨新たに本日の式に

臨んでおります。新潟国際情報大学は本年

創立25周年を迎えますが、これまでに皆さ

んを含めて6369名の卒業生を送り出し

て参りました。卒業生の中には既に社会の

リーダーとして、あるいは中堅の働き手と

して活躍中の人たちも数多くおられます。

皆さん方はその背中を見ながらこれまで過

ごして来たものと思います。これからは皆

さんが後輩たちにその背中を見せて行く役

回りとなります。

学位記を手にした皆さんはこれまで四年

間を過ごして来たみずき野キャンパスでの

日々を今どんな気持ちで振り返つておられ

ることでしよう。楽しかったこと、苦しか

ったこと、試験、卒業研究、卒論という最

後の難関を乗り切ったことの出来る「人」です。ご家族や友人、これから始まる新しい

日々、前途々々と広がります。

「一を知つて二を知らぬなり

ます。そんな時に頼りになるのは相談する

ことの出来る「人」です。ご家族や友人、

先輩、後輩、教師といった「人のネットワ

ーク」です。多方面に広がった「人のネット

ワーク」、それは資産です。それは多け

れば多い程、広ければ広い程いい。そうし

た「人のネットワーク」という資産の筆頭

に来るであろうものは「同窓会のネットワ

ーク」です。そして本学のそれは先程述べ

ましたように今や6000名を超える資産

に成長しております。

先日の新潟日報の「写真今昔」という欄

に平成6年（1994年）2月のアーカイ

ブ記事が、受験会場の雰囲気を伝える写真

と共に掲載されておりました。記事曰く

「満席マンモス会場—— 新設された新潟

国際情報大の前期入試が新潟市産業振興セ

ンター大ホールなど三会場で行われ、受験

生が倍率15倍の壁に挑んだ」。こうした激

しい競争の下で鍛え抜かれた草創期の先輩

達が現在同窓会、みずき会の幹部役員とし

て活躍してくれております。もちろんそれ

に続く若い諸君もここに集つて中核の役員

として力を奮つてくれております。同窓会

は大学の力の源泉の、重要な一つです。こ

こに集うことによって有形無形の何らかの

支援や気付きが得られることがあるでしょう。

是非同窓会を人のネットワークの拠点とし

て、情報交換の場として存分に活用して行

ってください。それと共にこの同窓会とい

う組織を皆さん之力でより強靭なものに育

て行ってください。皆さんに続く後輩た

ちのためにも。

先程ご紹介した高浜虚子はこんな句も残

しております。

「一を知つて二を知らぬなり

卒業す」。

如何でしょう、皆さんにそんな自覚はある

でしょうか。思うに皆さんには『半分、青

い』どころか『まだまだ青い』未完の若者

です。ただそれは取りも直さず伸びしろが

あるということです。この伸びしろを仮想

のものではなく、具体的な実体のある成果

物として、自分のもの、自分の力として行

くためには、これからも学び続けて行く必

要があります。皆さんにはこれからも学び

続けるための土台や基礎が出来ているはず

です。皆さんにはそれを本学で学んだことに

より獲得しているはずです。その上に、こ

れからも学び続けることによってはじめて

実体のある成果物が積み上がり始めるはず

です。これもまた大きければ大きい程い

い。平山前学長も「インド独立の父」マハ

トマ・ガンジーの「明日死ぬと思つて生き

なさい。永遠に生きると思つて学びなさ

い。」という言葉をよく引用しておられま

した。自らの現在の姿や限界を知つて、そ

から伸びようとすることで一步一歩の前

進が始まります。皆さんには新しい社会を創

る、新潟の、あるいはそれぞれの活動の拠

点とするであらう地域の未来を創る担い手

として、大いに期待されています。その

ためにこれからも学び続けてください。そ

してそのため卒業後も母校である新潟国

際情報大学を、同窓会と併せて存分にご活

用ください。訪ねて見てください。

また、皆さんに今日あるご家族、友

人、先生、先輩、後輩、周囲の色々な人た

ちが温かく支えてくれたからこそあります

。そうした皆さまの篤い支援に私からも

感謝申し上げます。卒業生の皆さんにあつ

ては、そうした方々に今日の良き日にあら

ためて感謝の気持ちを伝えてください。

このためにも。

「顧みての微笑み」忘れずに 活かせ人のネットワーク

本日ここに学士の学位を授与された情報文化学部176名、国際学部108名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席いたきました新潟信用金庫小松理事長情報大学の役員、教職員一同心より祝福致します。

皆さんは平成という元号における本学最後の卒業生であり、昨年4月に学長に就任した私にとっては最初に送り出す卒業生ということで、私自身感慨新たに本日の式に臨んでおります。新潟国際情報大学は本年創立25周年を迎えますが、これまでに皆さんを含めて6369名の卒業生を送り出し参りました。卒業生の中には既に社会のリーダーとして、あるいは中堅の働き手として活躍中の人たちも数多くおられます。皆さん方はその背中を見ながらこれまで過ごして来たものと思います。これからは皆さんが後輩たちにその背中を見せて行く役回りとなります。

学位記を手にした皆さんはこれまで四年間を過ごして来たみずき野キャンパスでの日々を今どんな気持ちで振り返つておられることでしよう。これまで学んで來たこと、何の役にも立たないということも起っこり得るでしょう。まさに未知との遭遇であり

0年を過ぎる頃まで80%台から90%台半ばと苦しい時期が続きました。それが今日では「人手不足」、「学生の売り手市場」と呼ばれる状況になつております。様変わりです。そうした外部的な恩恵もあり、本年も就職内定率は97%を超えております。また一方で、この先人工知能AIが人類の知能を超える転換点「シンギュラリティ」の到来は何時頃かとか、いくつかの職種はAIに取つて代わられる時代が確実に到来することといった議論も巻き起こっております。有為転変の激しい世の中です。その中に皆さんは4月から船出する訳です。思いもかけない事態に直面することも數あることでしよう。これまで学んで來たことが何の役にも立たないということも起っこり得るでしょう。まさに未知との遭遇であり

0年を過ぎる頃まで80%台から90%台半ばと苦しい時期が続きました。それが今日では「人手不足」、「学生の売り手市場」と呼ばれる状況になつております。様変わりです。そうした外部的な恩恵もあり、本年も就職内定率は97%を超えております。また一方で、この先人工知能AIが人類の知能を超える転換点「シンギュラリティ」の到来は何時頃かとか、いくつかの職種はAIに取つて代わられる時代が確実に到来することといった議論も巻き起こっております。有為転変の激しい世の中です。その中に皆さんは4月から船出する訳です。思いもかけない事態に直面することも數あることでしよう。これまで学んで來たことが何の役にも立たないということも起っこり得るでしょう。まさに未知との遭遇であり

0年を過ぎる頃まで80%台から90%台半ばと苦しい時期が続きました。それが今日では「人手不足」、「学生の売り手市場」と呼ばれる状況になつております。様変わりです。そうした外部的な恩恵もあり、本年も就職内定率は97%を超えております。また一方で、この先人工知能AIが人類の知能を超える転換点「シンギュラリティ」の到来は何時頃かとか、いくつかの職種はAIに取つて代わられる時代が確実に到来することといった議論も巻き起こっております。有為転変の激しい世の中です。その中に皆さんは4月から船出する訳です。思いもかけない事態に直面することも數あることでしよう。これまで学んで來たことが何の役にも立たないということも起っこり得るでしょう。まさに未知との遭遇であり

これからもそうした方々とのつながりを大切にして行ってください。

「顧みての微笑み」という言葉があります。曾て、海軍経理学校で語り継がれた言葉という人もおりますが、正確な出所は詳らかではありません。本日、学位記を手にした皆さんはこれまで過ごして来た日々を微笑みと共に、あるいは満面の笑みと共にでしようか、振り返つておられるものと思思います。皆さんはいづれまた何年か、ある



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

新潟国際情報大学の第22回卒業式を迎えられました284名の皆さん、卒業おめでとうございます。併せてご列席のご父母の皆様、心からお祝いとお喜びを申し上げます。いま、立派に成長して巣立つ元気な卒業生の姿を前にして、さぞかし感無量のことと拝察いたします。また、年度末のお忙しい中、多数ご臨席をいただきましたご来賓の皆様、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

大学の設置者であります学校法人新潟平成学院を代表して一言祝辞を申し述べます。

今、みずき野のキャンパスでは桜のつぼみも膨らみ始め、いつもと変わらない春の風景が巡ってきました。皆さんは卒業式を迎えた今、何を思い、振り返っていることでしょうか。あつという間の4年間だったのではないでしようか。皆さんの中には、大学とは何をすべきどころか、そうしたこ

とを深く考えず、高校の延長のような気持ちで進学した人も多いのではありませんか。振り返れば50年以上も前の私自身がまさにそうでした。しっかりと目的意識を持つて大学に進んだ学生は、案外少ないのではないかでしようか。失礼なことですがそんな風に推測しています。

もともと大学はあれこれ迷いながら自分なりの考え方で自由に知識とか経験を身につける場所ですから、それはそれとして構わないとは思います。ただ、これから先は皆さん、違います。漫然と実社会に入り生きていふことは許されません。自分はこれから

いは何十年か後に自分たちが歩んで来た途を振り返つて見ることでしょう。それまでの道のりにおいて幾多の困難に遭遇するものと思われます。微笑みどころではない状態に陥ることも多々あるものと思われます。ただ何らかの区切りを付けようとする時、あるいは新しい生活を始めようとする時、人生の大きな転換点に差し掛かった時に、それまでの來し方を振り返つてみる。その時に「自分は最善を尽くして來た。そ

自ら進んで「輪」をつくろう

らどういう人生を歩みたいのか、生きているのか、いつたい何をするのか、したいのか、組織や社会でどう役立っていくのか等、きちんと深く考えて早いうちに答えといふか目標を固めてほしいと願っています。

と願っています。強い心や覚悟を身につけるということは、かなり難しいことはあります。ですが、結局のところ、自分で自分を磨き、自分で自分を鍛えることからしか生まれません。そのことを特に強調しておきたいと思います。

最後に「あなたは輪をつくれますか」という問い合わせで締めくくりの言葉いたします。「輪つか」の「輪」を皆さんは作れるかということです。「逆境」に直面する時代のなかでは、ひと握りの優れた人間がとても降りかかる難題を解決、突破する力にはなり得ません。一人ひとりが手を繋ぎ合いで、スクランブルを組み、共に助け合うことがより重要になってしまいます。

5月から新しい元号の時代を迎えます。皆さんは否応なしに厳しく、生きづらい時代が待ち構え、大きな危険も想定しなければなりません。毎年卒業式のたびに同じようなことを話していますが、時代は確実に困難な方向に向かって動いています。極端な自然現象に伴う大規模災害の多

発をはじめ地震のたびに身構えざるを得ないメルトダウンしたままの福島第一原発のこと、人口減、超高齢化と福祉の行方等々。そして世界では終わることのない分断と分裂と対立。人種や民族、宗教間の対立紛争は、むしろ激化しているように見えます。卒業生の皆さんには、こうした「不安と逆境の時代」を避けては通れないのです。極めて生きにくい、辛い世の中を渡つていかなければなりません。こうした事実をしっかりと踏まえて、決して逆境に対してもひるまない、たじろがない強い決意と覚悟をもつて人生を生き抜いて行つてほしい

に多い記録となつたことも嬉しいニュースのひとつとなりました。このことはこれまでに、本学で汗を流された多くの先輩を含む教職員はじめご父母の皆様、地域の方々、そして同窓生の皆さんから25年の歴史の中で積み上げていただいた本学の「価値」が、まさに高く評価され、証明されたものと有難く感謝している次第です。とりわけ本学卒業の同窓生は、昨年度で6083人を数えましたが、こうした同窓生の実社会における活躍ぶりが、地域や企業から評価され、志願者増の大きな要因になつてゐるものと考えております。本日ここに卒業される皆さんもこうしたこと強く意識して、これから先輩たちとの絆を深め、併せて母校への支援、協力をお願いしたいものと期待しております。

平成6年に開学した新潟国際情報大学は、新年度、創立25周年の節目を迎えます。間もなく入学してきます第26回新入生たちは、新しい元号の時代を目前に学生生活の第一歩を踏み出すことになるわけです。が、今年は入試志願者が、昨年に引き続き一千人の大台を突破して、開学以来4番目

してそれは間違つていなかった。正しかつたのだ。」と微笑みを以てそれを総括することができます。是非そうした日々を送つて行っていただきたいと願っております。

いいでしよう、総括が出来るようになつていただきたい。私自身はそうありたいと思つておりますし、皆さんにおかれましては、そのような大きな節目だけではあります。毎日の暮らし、日々の営みの中での日々の暮らし、ほつと一息ついて自らの行いを振り返つてみる、むしろそうした場面で思い出していただきたい言葉だと思いますが、それらのいずれの時においても、頗るくば微笑みを以て、その中には苦笑が混じっていても



〈総代〉国際文化学科
本間 千華

学びを糧に前へ

冬の厳しい寒さも和らぎ、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。本日は、教職員をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、私たちのためにこのような盛大な卒業式を挙行いただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

4年前の春、慣れないスーツに身を包み、この先の大学生活に大きな不安と期待を抱いていた私たちは今、早すぎる時の流れを惜しみながらも、充実した大学生活の思い出に浸っています。

新潟国際情報大学は、私に大きく二つの財産を与えてくれました。

一つは学問の奥深さに気づけたことです。選択した英語集中コースでは、英語という言語が人との縁をつくり、自分自身を成長させてくれる力を持つていてることに気づくことができました。4年間で身についた英語スキルは、新たな文化や歴史を知り、私自身の知見を広めてくれるものとなり、現状、支援の方などを学びました。日常生活における私の意識や行動も自己中心から世界中心へと変わり、ゼミでの学びが影響していることを実感しています。

冬の厳しい寒さも和らぎ、暖かな日差しに春の訪れを感じる季節となりました。本日は、教職員をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、私たちのためにこのように盛大な卒業式を挙行いただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。

4年前の春、慣れないスーツに身を包み、この先の大学生活に大きな不安と期待を抱いていた私たちは今、早すぎる時の流れを惜しみながらも、充実した大学生活の思い出に浸っています。

新潟国際情報大学は、私に大きく二つの財産を与えてくれました。

そして二つ目は、心から信頼できる先生方、友人たちと出会えたことです。英語を基礎から教えていたいた先生、厳しく愛のある卒業論文の指導をしていたいた先生はもちろん、アメリカへの派遣留学、サークルでのイベント活動、卒業論文の執筆、私生活など、私はいつでも互いに高め合える友人たちに恵まれました。皆さんと出会い、強い信頼関係を築けたことを心底から誇りに思っています。

正直今は寂しい気持ちでいっぱいですが、今、目の前に座っている284人の卒業生一人一人が、これから自分で決めた道を自分の足で歩いていきます。たとえこの先様々な困難に遭遇しても、その都度、大学での学びを糧にその困難を乗り越え、成長できるよう励んでいきます。

最後になりましたが、改めて、学問の面白さを教えてくださった先生方、充実した学生生活と共に育ってくれた友人たち、そして大学に通わせてくれた家族に心から感謝致します。本当にありがとうございます。今後の後輩の活躍と新潟国際情報大学の発展を願い、答辞とさせていただきま

祝電		順不同
日本私立大学協会	会長	大沼 淳様
新潟県 知事		花角 大沼 淳様
新潟市 市長	会頭	中原 一様
新潟商工会議所	会頭	福田 勝之様
セコム上信越株式会社	代表取締役会長	野沢 慎吾様
ALSOOK	代表取締役会長	清水 幹人様
新潟綜合警備保障株式会社	代表取締役	清水 廣田 氏様
株式会社マリイ	代表取締役	辰雄 氏様

退職教員 あいさつ



4月1日から佛教大学社会学部公共政策学科に異動いたしました。19年間、お世話になりました。ありがとうございます。最後に山口百恵の『さよならの向う側』の歌詞を添えて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

さよならのかわりに

国際文化学科 准教授 安藤 潤

あなたの燃える手／あなたの口づけ
あなたのぬくもり／あなたのすべてを
きっと／私／忘れません
後姿／みないでください
Thank you for your kindness
Thank you for your tenderness
Thank you for your smile
Thank you for your love
Thank you for your everything
さよならのかわりに



オオミスミ草のように
情報システム学科 教授 近藤 進

ムではハードウエアを担当しましたが、製作に興味を持つ学生の多いことが印象に残っています。また、通信

まで4年かかります。そしてどれ一つ同じ花はあります。雪を割つて蕾みを持ち上げ、一面に咲く花を楽しみにしておりま



寝食を共にした思い出
経営学科 教授 岸野 清孝

根市の自宅に戻ります。新潟国際情報大学が、ますます魅力的な大学になることをお祈りしています。

30年間勤めた日立を退職して、2004年4月から15年間勤めた本学を退官します。本学は私にとって初めての教員経験

送りました。韓国、北海道、京都、大阪（USJ）、東京（スカイツリー）、さらにビル工場見学等のゼミ旅行を行い、寝食を共にした楽しい思い出を得ることができました。

満足のいく高校生活を送
れなかつた私にとつて、こ
の4年間の大学生活は、中
国語の習得、海外留学等も
のすごく充実したものにな
りました。

と、学びたいものに出会う
ことができ、それらを納得
のいくまで追求することが
出来ました。

この大学生活の中で起
った全ての出来事、重ねて
出来ました。

大学生活のすべてが宝物

国際文化学科 藤巻 直也

大学の中できまざまな分
野のものに触ることで、
不明瞭だった自分の本当の
姿を見つけることが出来ま
した。自分がやりたいこ
とができます。

私はコンピュータを使う
ことが好きで、その知識を
さらに高めたいと思い本学
に入学しました。
挑戦したいという気持ち

きた全ての経験、出会えた
全ての人たち、どれも大切
な宝物です。そのことに誇
りを持つて、歩んでいきた
いと思います。

育まれたチャレンジ精神

情報システム学科 渡邊 美里

を後押ししてくれる大学の
環境は私に非常に合つてお
り、授業の内容から発展
し、小型コンピュータを使
用したコンテストへ出場す
ることなどに繋がりまし
た。

意義のあるものだつたと感
じます。今後社会に出てか
らも探求心を忘れず、さま
ざまなことに挑戦していく
たいです。

卒業にあたって

留学、ボランティア、卒論、挑戦続けた4年間

やりたいことも正確に決
まりないまま本学に入学し
ましたが、自分が入学時に
抱いていた想像以上に勉学
に励むことができたと思い
ます。

と、学ぶことの楽しさがあ
りました。また、マーケテ
ィングを学ぶことを通し
て、社会人の方達との関わ
り方なども実践の中で学ぶ
ことができました。大学生

街歩きで学ぶ楽しさ発見

情報システム学科 松田 一希

大学ではマーケティング
に関心を持ち懸命に取り組
みました。中央区での街歩
きプロジェクト、シンガポ
ールでの研修には考えるこ
とになりました。サポートし
てくださった先生方に感謝
を申し上げます。

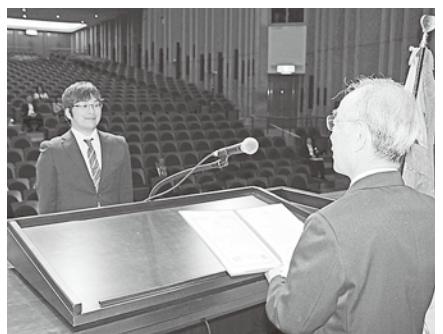
見つけた国際交流の課題

国際文化学科 齋藤 優里愛

シア留学、国際交流ファシ
リテーター事業、そして卒
業論文。これらはすべて、
私個人の力ではなく、たく
さんの方々の理解と協力に
よつて成し遂げることがで
きました。

私の大学生活の4年間を
「国際交流」という言葉な
しでは語ることはできませ
ん。青少年国際交流や通訳
のボランティア、二回のロ
ークを発見しました。今後

JABEE認定プログラム 23人に修了証書授与



卒業式に先立ち、JABEE（日本技術者教育認定機構）で認定されている、情報システム技術プログラムの修了証書授与式が行われました。修了生23名は学長から一人ずつ修了証書を授与されました。

JABEE修了生は、世界に通用する教育を受けた技術者とみなされます。また、国家資格である技術士の第一次試験免除の優遇措置が受けられます。

継続研鑽と情報交換を行うために、技術士と教員による交流会を年2回（新潟と東京）開催しています。社会で活躍されることを期待します。

平成30年度卒業式

284人 旅立ちの春



第22回までの卒業生は合計6,369人に

年 度	卒業者数	情報文化科学科	情報システム学科
平成 9 年度(第 1 回)	295人	116人	179人
10年度(第 2 回)	290人	124人	166人
11年度(第 3 回)	303人	126人	177人
12年度(第 4 回)	294人	116人	178人
13年度(第 5 回)	291人	118人	173人
14年度(第 6 回)	277人	111人	166人
15年度(第 7 回)	314人	118人	196人
16年度(第 8 回)	294人	115人	179人
17年度(第 9 回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
年 度	卒業者数	国際文化科学科	情報システム学科
29年度(第21回)	282人	106人	176人
30年度(第22回)	286人	110人	176人
合 計	6,369人	2,548人	3,821人

韓国語能力試験6級およびハングル能力検定試験準2級に合格するなど優秀な成績を修めた。

情報システム学科
田中祐多

学びを糧に学窓巢立つ

長は「皆さんには新しい新潟のあるいは地域の未来を創る担い手として大いに期待されています。一步一步前進するためにこれからも学び続けてください」と式辞を述べ、餃子^{はなづけ}に「顧みての微笑み」という言葉を贈りました

卒業生を代表して国際文化学科の本間千華さんが「自分で決めた道を自分の足で歩いていきます。大学での学びを糧にその困難を乗り越え励んでいきます」と決意も新たに答辭を述べました。

学での学びを糧にその困り越え励んでいきます」
も新たに答辭を述べました。最後に校歌「空がある
風がある光がある」を全員で齊唱し、会場は
祝福と喜びの拍手に包まれました。



卒業生特別表彰

學長賞（學業成績優秀者）

国際文化学科（総代）
情報システム学科
六本木 瑞季 本間 千華

課外活動賞

情報システム学科 小池 優太

フィットネス研究部でパワーリフティングの競技力向上に努め、第72回国体出場を果たすなど優秀な成績を修めた。

情報システム学科
小山 裕也

ファイナンシャル・プランニング技能検定2級、品質管理検定2級、
検定2級に合格するなど資格取得に向け努力し、優秀な成績を修めた。

国際文化学科
伊藤 雄大

国際文化学科
大滝理奈
齋藤優菜
山口凪子

山口凪子

情報システム学科
新潟市西区内野商店街で2年
以上にわたり産官学連携による地域活性化の研究に取り組み、若者誘客のイベント誘致や政策提言を行うなど同地区活性化に寄与した。

情報システム学科
新潟市中心市街地の活性化を
図るためスマートフォンを用いた
いた「まちあるき」のビジネス
モデルを構築してイベント
を実施したほか、同市の提言
フォーラムでは、就活ストレ
ス解消の取組みで優秀賞を受
賞。地域活性化に寄与した。

國際文化學科

齊藤優里愛

平成30年度（第22回）卒業式
が3月21日、新潟県民会館大ホールで行われ、284人（国際学部108人、情報文化学部176人）が、新たに社会へ果立ちました。

続いて祝辞を述べた学校法人新潟平成学院の星野元理事長は、「これから不安と逆境の時代に、ひるまない強い決意と覚悟をもち、実社会で自ら進んで人の『輪』をつくれる人間になつ

学長賞（学業成績優秀者）

シア姉妹都市交流事業のロシ
ア語通訳補助や運営ボランティアとして活躍するなど国際
交流活動に尽力した。